

熊本高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	歴史と文化
科目基礎情報					
科目番号	0077		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	共通教育科 (八代)		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	1	
教科書/教材	講義レジュメと講義資料を配布する。				
担当教員	遠山 隆淑				
到達目標					
21世紀の現代に生きる私たちが自明の大前提にしているデモクラシー、またそれを支える様々な政治制度や思想（権力分立、議会、政教分離、立憲主義、人権、平等、自由など）は、古代ギリシア以来の西洋史の中で見れば、実はごくごく最近生まれた新しいものです。本講義では、西洋近代の政治思想を、それらが生み出された歴史的状況をふまえ、それらの思想が語られている実際の「古典」の箇所を紹介しながら説明します。歴史という観点から政治学を学ぶことで、現代デモクラシーの自明性を取りはらってください。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
近代の西洋政治思想史の基礎的知識を獲得し、試験で適切に記述できる。	講義で示された基礎知識を十分に理解し試験で答えられる。		講義で示された基礎知識をある程度試験で説明できる。		講義で示された基礎知識について試験で答えることができない。
講義内容について、教員の口頭での説明も丁寧に聞き取りながらノートをとることができる。	講義における教員の口頭での説明を十分かつ丁寧に聞き取りノートに取ることができる。		講義における教員の口頭での説明を聞き取りノートに取っている。		講義における教員の口頭での説明を聞き取りノートに取ることができない。
講義の説明項目について意味を理解し、試験において「パラグラフ・ライティング」の方法にしたがって1000字程度の文章を作成できる。	講義の説明項目について意味を十分に理解し、「パラグラフ・ライティング」の方法に基づき1000字程度の文章で適切に記述できる。		講義の説明項目について意味を理解し、「パラグラフ・ライティング」の方法に基づき1000字程度の文章で記述できる。		講義の説明項目について意味が理解できない、または文章で意味が通じないように記述できない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	1.マキアヴェッリの思想について、近代政治学の出現ならびに権力という観点から理解できる。 2.ホブズの思想について、宗教ならびに権力と政治という観点から理解できる。 3.J・ロックの思想について、社会と政治という観点から理解できる。 4.J・J・ルソーの思想について、デモクラシーと政治という観点から理解できる。 5.アカデミック・ライティングの基本的な発想を理解し、この方法に従って短い文章を作成できる。				
授業の進め方・方法	講義中心 必要に応じて講義に関連する資料配布。				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の講義をしっかりと聴き、ノートをきちんととること。ノート作りは、他人の話の要点を読みとるための最適な訓練の場となるため、絶対におろそかにしてはならない。 そのノートをもとに、講義の内容を自分自身でストーリー化して、講義全体の内容を自分の言葉でかみ砕いて理解する。 				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	イントロダクション	・本講義の進め方について理解する。	
		2週	マキアヴェッリ『君主論』と近代政治学の出現	ルネサンス人マキアヴェッリが生み出した近代政治学の特徴を、権力論の観点から理解する。	
		3週	マキアヴェッリ『君主論』と近代政治学の出現	ルネサンス人マキアヴェッリが生み出した近代政治学の特徴を、権力論の観点から理解する。	
		4週	マキアヴェッリ『君主論』と近代政治学の出現	ルネサンス人マキアヴェッリが生み出した近代政治学の特徴を、権力論の観点から理解する。	
		5週	T・ホブズ『リヴァイアサン』と宗教戦争の克服	ホブズが提出した社会契約論の特徴を、政治と宗教の問題の克服という観点から理解する。	
		6週	文章作成指導	「パラグラフ・リーディング」「パラグラフ・ライティング」の考え方を理解する。	
		7週	T・ホブズ『リヴァイアサン』と宗教戦争の克服	ホブズが提出した社会契約論の特徴を、政治と宗教の問題の克服という観点から理解する。	
		8週	中間試験	講義内容の理解を「パラグラフ・ライティング」での答案作成で問う。	
	2ndQ	9週	T・ホブズ『リヴァイアサン』と宗教戦争の克服	ホブズが提出した社会契約論の特徴を、ピューリタン革命と政治と宗教の問題の克服という観点から理解する。	
		10週	J・ロック『統治二論』と市民社会の発見	J・ロックの社会契約論の特徴を、名誉革命にいたる歴史ならびに「(市民)社会の発見」という観点から理解する。	
		11週	J・ロック『統治二論』と市民社会の発見	J・ロックの社会契約論の特徴を、名誉革命にいたる歴史ならびに「(市民)社会の発見」という観点から理解する。	
		12週	J・ロック『統治二論』と市民社会の発見	J・ロックの社会契約論の特徴を、名誉革命にいたる歴史ならびに「(市民)社会の発見」という観点から理解する。	
		13週	J・J・ルソー『社会契約論』と人民主権	J・J・ルソーの社会契約論を、人民主権論に注目して考察することを通じ、デモクラシーの難しさについて理解する。	
		14週	J・J・ルソー『社会契約論』と人民主権	J・J・ルソーの社会契約論を、人民主権論に注目して考察することを通じ、デモクラシーの難しさについて理解する。	
		15週	J・J・ルソー『社会契約論』と人民主権	J・J・ルソーの社会契約論を、人民主権論に注目して考察することを通じ、デモクラシーの難しさについて理解する。	

		16週	期末試験	講義内容の理解を「パラグラフ・ライティング」での答案作成で問う。
--	--	-----	------	----------------------------------

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地歴	日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から理解できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
			公民	哲学者の思想に触れ、人間とはどのような存在と考えられてきたかについて理解できる。	4	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				諸思想や諸宗教において、自分が人としていかに生きるべきと考えられてきたかについて理解できる。	4	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				諸思想や諸宗教において、好ましい社会と人間のかかわり方についてどのように考えられてきたかを理解できる。	4	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
		地歴・公民	現代科学の考え方や科学技術の特質、科学技術が社会や自然環境に与える影響について理解できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16	
			社会や自然環境に調和し、人類にとって必要な科学技術のあり方についての様々な考え方について理解できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16	
			今日の国際的な政治・経済の仕組みや、国家間の結びつきの現状とそのさまざまな背景について理解できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	0	70
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0